

kikusui

TECHNICAL DATA

仕上げの種類	防水形外装合成樹脂エマルジョン系 薄付け仕上塗材(防水形外装薄塗材E)仕上げ
製品名	B eニューS i (ゆず肌状仕上げ)

下塗材： エポキシ変性アクリル樹脂エマルジョン系下塗材
「キクスイ プライマー スーパーE」

第1版 作成日： 2019年12月25日



菊水化学工業株式会社

公共建築改修工事施工仕様書

1. 仕上げの種類

防水形外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材（防水形外装薄塗材E）仕上げ

2. 製品名

B e ニ ュ ー S i （ゆず肌状仕上げ）

3. 適用範囲

既存の仕上塗材塗り仕上げ等を改修する場合及びコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁等に仕上塗材塗りを行う場合に適用し、その他の下地に適用する場合は特記による。

4. 材料

下塗材： キクスイ プライマー スーパーE NET 15kg/缶入

主 材： B e ニ ュ ー S i NET 16kg/缶入

5. 下地

5.1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」平成31年版第4章 外壁改修工事の4.6.3 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整に準ずる。

5.2 既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル仕上げ外壁等の下地調整

既存のコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁等に仕上塗材塗りを行う場合の下地調整は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」平成31年版第4章 外壁改修工事の4.6.4 既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル仕上げ外壁等の下地調整に準ずる。

6. 工程

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (h) (23°C 50%RH)	所要量 (kg/m ²)
下塗り	キクスイ プライマー スーパーE 主材: 15 kg 清水: 無希釈	エアレススプレー 等	1	3 以上	0.1 以上
増塗り	B e ニ ュ ー S i 主材: 16 kg 清水: 0.2~0.5 L	はけ等	1	6 以上	0.7 以上
主材塗り	基層塗り B e ニ ュ ー S i 主材: 16 kg 清水: 0~0.3 L	多孔質ローラー	1 1 2	6 以上 工程内 6 以上	1.0 以上
	模様塗り B e ニ ュ ー S i 主材: 16 kg 清水: 0.3~0.6 L	ウールローラー (中毛)	1	-	0.4 以上

7. 工法

7.1 材料の練混ぜ

- (1) 下塗材は、希釈せずハンドミキサーで均一にする。
- (2) 主材は、定められた模様に対する所定の粘度に調整するよう清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に行う。

7.2 下塗り

- (1) 下塗りは、だれ及び塗残しのないように均一に塗り付ける。

7.3 増塗り

- (1) 増塗りは、出隅、入隅、目地部、開口まわり等に刷毛又はローラーにより、端部に段差のないように塗り付ける。

7.4 主材塗り

- (1) 基層塗りは、だれ・ピンホール・塗り残しのないように均一に塗り付ける。

- (2) 模様塗りは、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、所定のローラーを用いて塗り付ける。

8. 材料の取り扱い

- (1) 施工者は、材料の受入れ検査を行う。
- (2) 材料の保管にあたっては、直射日光を避け低温時において凍結しないように注意する。
- (3) 材料は使用に先立ち、材料の分離などについて検査を行い、異常が認められた場合は使用してはならない。
- (4) 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS（安全データシート）を参照のこと。

9. 施工時の養生

- (1) 外装仕上げ面においては、塗り付け作業前に直射日光、風及び雨を防ぐためシート掛け養生を行う。特にパラペットと足場の間には雨が吹き込まないように覆いをかける。
- (2) 夏季に屋外で施工する場合は、急激な乾燥を防止するため、シート類、ポリエチレンフィルムなどで覆う。
- (3) 工事中は、周辺のほかの部材及び仕上げ面を汚損しないよう適切な養生を行う。

10. 施工時の気象条件

- (1) 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがあるので、施工を避ける。
- (2) 外部の施工で降雨、降雪の場合又はそのおそれのある場合及び強風時は施工を避ける。

11. その他の注意事項

- (1) 一般事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」平成31年版第4章 外壁改修工事の4.1.3 施工一般及び4.6.2 仕上塗材仕上げに準ずる。
- (2) 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないように注意する。
- (3) 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがある。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行うこと。

※本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照するようにしてください。

成分表

下塗材： キクスイ プライマー スーパーE

内容	重量 (%)
エポキシ変性アクリル樹脂エマルジョン	100.0
計	100

主材： B e ニュー S i

内容	重量 (%)
シリコン架橋アクリル樹脂エマルジョン	57.5
体質及び白色顔料	17.7
水	12.7
添加剤	12.1
着色顔料	適宜
計	100

性能試験成績書

仕上げの種類	防水形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 (防水形外装薄塗材E) 仕上げ		
製品名	BeニューSi		
供試材料	下塗材：キクスイ プライマースーパーE 主 材：BeニューSi		
試験方法	JIS A 6909-2014 防水形外装薄塗材Eに準拠		
試験項目	規定	結果	
低温安定性	塊がなく組成物の分離・凝集がない。		適合
初期乾燥による ひび割れ抵抗性	ひび割れがない。		適合
付着強さ N/mm ²	標準状態	0.7 以上	1.2
	浸水後	0.5 以上	1.0
温冷繰返し	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。		適合
透水性 B法 ml	0.5 以下		0.0
耐衝撃性	ひび割れ、剥がれ及び著しい変形がない。		適合
耐候性 A法	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上とする。		適合
伸び	標準時	伸び率 120 %以上	491
	-10℃時	伸び率 20 %以上	23
	浸水後	伸び率 100 %以上	489
	加熱後	伸び率 100 %以上	212
伸び時の劣化	剥離、反り及びねじれがなく、主材に破断及びひび割れがない。		適合
透湿度 g/m ² 24h	JIS Z 0208 に準拠		110
—以下余白—			

*上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。